保証書

本書はお買上げの日から下記期間中故障が発生した場合には 本書26ページ記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 ご参照ください。

品番		Wellness Index Meter ORPreader® オルブリーダー ウエルネス インデックス メーター MADE IN JAPAN
保証期間		本体お買上げ日より 1か年
購入日		年 月 日(購入日、氏名はご自分でご記入ください)
お客様	ご住所 ——— お名前 電話 ———	
取扱企業名	住所 電話	

- ■販売名: ORPreader Wellness Index Meter オルプリーダー ウエルネス インデックス メーター
- ■一般医療機器
- ■特定保守管理医療機器
- ■製造販売者: オルプ株式会社

〒251-0042神奈川県藤沢市辻堂新町2-17-22-204

Tel: 0466-21-8933 Fax: 0466-54-8612

■製造販売届出番号:14B3X90015000001



(01)04580009450014(10)A0001



保証書付

Wellness Index Meter ORPreader®



一般医療機器 特定保守管理医療機器 MADE IN JAPAN

Medical Equipment

取扱説明書

Quantification of Stress Levels Using Saliva ORP



@オルプ株式会社

Wellness Index Meter ORPreader® 測定装置の部品・付属品・材質/材料について オルブリーダー ウエルネス インデックス メーター

部品/付属品	材質/材料
本装置筐体(メタリックホワイト塗装)	鉄板
時刻/選択パネル部	PET
本装置筐体の底面足ゴム	シリコン60
基板	ガラス布基材エポキシ樹脂
白金電極	Pt 純度999
銀-塩化銀電極	AgCl
比較電極の補充用溶液(KCI 1mol)	塩化カリウム水溶液
校正標準溶液	特定標準溶液
試料槽測定部	POM-N 半透明
比較電極 KCl 1mol 溶液タンクカバー	ポリカーボネート半透明
比較電極のKCI 1mol 溶液注入口ネジ	ポリカーボネート半透明
測定専用綿棒(1本づつ滅菌梱包)	指定の医療用天然コットンと紙軸棒
試料槽洗浄専用綿棒	天然抗菌キトサン
ストロー(局所唾液採取用)	プラスチック
精製水	蒸留水
容器(ノズル付精製水入れ)	プラスチック
容器 (洗浄汚水入れ容器)	プラスチック
本体(組立金属ネジ)	ステンレス(SUS)
ミニスポイト	ポリエチレン
ビニール手袋	塩化ビニール樹脂
テッシュペーパー	木材パルプ
測定結果プリント用紙	感熱ロール紙
医療機器用AC/DCアダプター	医療適合規格 IEC60601-1
専用ハードケース	アルミ合金

添付書類/書籍
取扱説明書「保証書付き」
医療機器添付書類
書籍「天の配慮(日本語版)」
書籍「天の配慮(英語語版)」
ORPreaderカタログ

2 --- ORPreader

もくじ

Wellness Index Meter ORPreader® **Thyll-4- DINAR AVENUA X-4-

必ずご確認ください ――――4
各部の名称5
付属品の使い方6~7
ORPってなに?―――8
なにを測定するの?――――9
まずは装置を知ろう――――10 (測定結果プリント 感熱紙の装填方法)
測定の前に・・・準備11
KCI 溶液補充について11
測定の前に・・・洗浄12
測定精度の安定・・・測定は主電源ONから13 30分経過後にしてください
測定・・・体調度チェック14
体調度を数値化図表で見る方法15
測定・・・ストレス度チェック ――――16
ストレス度を数値化図表で見る方法 ――――17
測定・・・薬物スクリーニングチェック ―――18
薬物スクリーニングを数値化図表で見る方法 ――――19
試料槽が3つあるのは?20
3項目の数値化図表の見方20
3ヶ月に1度の目安で • • • 校正確認 ──── 21
校正の手順21
故障かな?と思ったら ———22~23
ORPreader仕様 ———— 24
付属品・別売り商品25
アフターサービスについて26~27
(無料修理規定 / 使用上の注意 / 対処方法 / 貯蔵・保管方法及び使用期間等 / 警告 / 禁忌・禁止 / 分解・改造禁止)
保証書(裏表紙) ———— 28

Wellness Index Meter RPreader_®



必ずご確認ください。

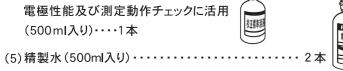
ORPreader オルプリーダーがお手元に届きましたら下記の本体および付属品をご確認ください。

【本体】·【付属品】

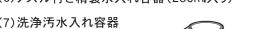


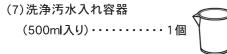


(4)校正標準溶液 電極性能及び測定動作チェックに活用 (500ml入り)····1本









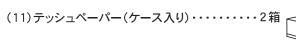


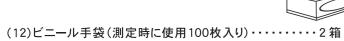
青色ミニスポイト

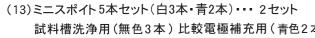
(8) ORPreader オルプリーダー 測定専用綿棒(コットン綿棒600 本入り)・・・・ 2 箱

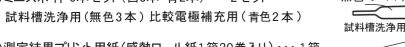
(9) ORPreader オルプリーダー 局所唾液採取専用ストロー(600本入り)・・・・ 1 箱と 局所唾液採取用ホルダー (ステッドラー芯ホルダー)

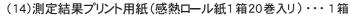
(10)試料槽部拭取り専用綿棒(コットン綿棒200本入り)・・・・・・・・4 箱

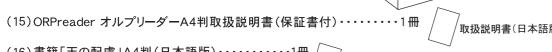




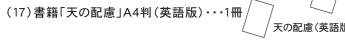




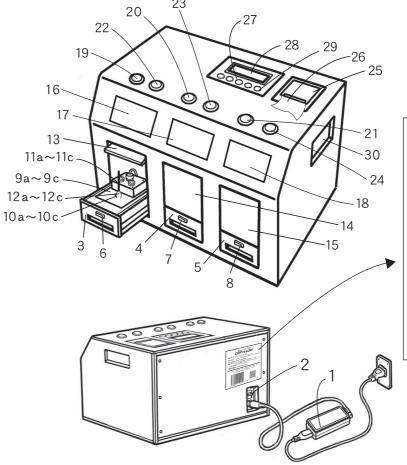




(16)書籍「天の配慮」A4判(日本語版)・・・・・・・1冊 天の配慮(日本語版)







ORPreader_®



- ●販売名/ORPreader Wellness Index Meter オルプリーダー ウエルネス インデックスメーター ●器具器械17 一般的名称:イオン選択性分析装置 JMDNコード 35902000
- ●一般医療機器/特定保守管理医療機器
- ●製造販売者/〒251-0042神奈川県藤沢市辻堂新町2-17-22-204 オルプ株式会社 https://www.orp-corporation.com/
- 製造販売届出番号/14B3X90015000001 ●製造番号/A 0001

メンテナンス、付属部品、ご注文、お問合せは下記までお願いします。





▲QRコードでオルプ(株)のURLを確認。

番号	各部の名称	説明	関連ページ
1	主電源AC/DCアダプター 医療機器用です。他のAC/DCアダプターを使用 故障の原因となります。		P. 6, 10, 22, 23
2	電源スイッチ	主電源ON又はOFF切り替えボタン。	P. 10, 22, 23
3~5	測定BOX	本機は3つの測定BOXを備えています。	P. 10, 20, 22, 23
6~8	測定BOX開閉ボタン	測定BOXを引き出す時、又は押し込む時に使用します。	P. 14, 16, 18
9a~9c	試料槽洗浄部	各測定BOXに1個づつあります。	P. 12
10a~10c	綿棒差し込み口	各測定BOXの試料槽に1個づつあります。	P. 14, 16, 18
11a~11c	塩化銀電極	KCI溶液に格納されて各測定BOXにあります。	P. 11
12a~12c	唾液用綿棒	唾液を含ませるための綿棒で他のものは 使用しないでください。	P. 14,16,18
13a~15c	開閉ドア	各測定BOXにあり、上下に動作します。	
16~18	液晶部	各測定BOXにあり、動作過程及び測定結果を表示します。	P. 22, 23
19~21	PRINT/A ボタン	このボタンはPRINTとAボタン(選択)を兼ねています。 長押しすることで 唾液 1 ~ 6 の選択、7 の校正選択ができます。	P. 10, 13, 14, 16 18, 21
22~24	START/B ボタン	このボタンはSTARTとBボタン(設定)を兼ねています。 長押しすることで 唾液 1 ~ 6 の設定、7 の校正設定ができます。	P. 10, 13, 14, 16 18, 21
25	プリントアウト部	測定結果のプリント排出部。	
26	プリント	測定結果が書き出されるシート	P. 10, 13, 15, 16, 19
27	言語選択ボタン	日本語、又は英語の切り替え選択ボタン	P. 13
28	日時の確認液晶部	西暦、又は時刻の切り替え確認を表示します。	P. 13
29	日時の設定部	西暦、又は時刻の切り替えを設定します。	P. 13
30	ハンドル 本機の持ち手。	本機を安全に移動するためにはこのハンドルで 持ち上げてください。	

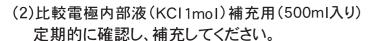




【付属品の使い方】

(1) ORPreader オルプリーダー電源 100 V仕様 (AC/DCアダプター) 本体の背面にある差込み口にアダプターを差込み、電源100V仕様の 電源元とつないでご使用ください

※お買い求めは、当社、オルプ(株)までお申し込みください。



※比較電極内部液(KCI1mol)の濃度に調整した塩化カリウム水溶液です。

- ※人体に無害です。塩水なので万が一目に比較電極内部液が入って しまってしみる場合は精製水で流水して、お医者様の指示を受けて ください。故意に試飲することはしないでください。責任は負いかねます。
- ※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

※お買い求めは、当社、オルプ(株)までお申し込みください。



校正標準液をキャップに小分けし、唾液測定専用綿棒に 校正標準溶液を含浸させ、唾液測定と同じ順序で、3か月に1度の 目安、又は任意で電極性能及び測定動作チェックしてください。

※人体に無害です。故意に試飲することはしないでください。責任は負いかねます。

(4)精製水(500ml入り)

試料槽部の洗浄用にご使用ください。精製水(純水)以外の溶液での 洗浄はしないでください。消毒液などの揮発性を含む溶液での洗浄は、 電極に損傷を与えますので絶対に使用しないでください。

ORPreader オルプリーダー測定装置が使用できなくなります。 ※精製水は人体に無害です。純水の無色透明。臭い及び味はありません。

※薬局、コンビニでもお買い求めできます。

(5)容器 ノズル付き精製水入れ(250ml入り) 試料槽部の洗浄用としてのノズル付き精製水入れ容器です。 ※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

精製水を入れ、 しっかりキャップ します。

P 精製水

(6)容器 洗浄汚水入れ(500ml入り) 試料槽部の洗浄汚水入れ容器です。 ※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。



ORPreader オルプリーダー 測定装置で使用する唾液測定専用綿棒です。 ※購入単位は600本入り1箱からお求めいただけます。お客様の測定頻度 に合わせてお買い求めください。

※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

※オルプ仕様の綿棒以外での測定精度については保証しません。



女性の方は唾液含浸 の綿部分に口紅を付 けないこと。 口紅の色素が再 現性を悪くする からです。



舌の上の中央に綿棒を乗せ 唾液を綿棒に充分浸させます。

(医療機器用AC/DCアダプター装備)



校正標準溶液

ORPreader オルプリーダー 測定装置で使用する局所唾液採取専用ストローです。 ※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。 局所唾液採取専用ストロー

(9) 試料槽部拭取り専用綿棒(コットン綿棒200本入り)

ORPreader オルプリーダー 測定装置で使用する試料槽部拭取り専用綿棒です。 ※購入単位は200本入り1箱からお求めいただけます。お客様の測定頻度に合わせて お買い求めください。

※綿棒の紙軸両端が綿に包まれた綿棒で、試料槽部の拭き取りをしてください。 綿に包まれていない紙軸棒等の固いものでのふき取りは試料槽に内蔵の 白金電極を損傷させますので絶対にしないでください。

※薬局、コンビニでもお買い求めできます。但し、綿棒の両サイドの軸棒が綿で包まれているものとする。

(8)ストロー 局所唾液採取専用(600本入り)と局所唾液採取用ホルダー(ステッドラー芯ホルダー)

(10) テッシュペーパー(ケース入り)

試料槽部の洗浄、拭取り用としてお使いください。

※薬局、コンビニでもお買い求めできます。 但し、テッシュペーパー以外の ペーパーナフキン等の固い紙は白金電極を傷つける恐れがあるので使用不可。

テッシュペーパー

(11)ビニール手袋(測定時に使用100枚入り)

ORPreader オルプリーダー 測定装置の使用時にお使いください。

※厚生労働省認可の医療機器操作において衛生面からの使用が義務付けられています。

※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

※市販でのお買い求めは、粉無「プラスチックグローブ」にしてください。粉付き 手袋は、試料槽部の電子導通部に粉が吸着し測定トラブルを避けるためです。

※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

※薬局、コンビニでもお買い求めできます。

(12)ミニスポイト試料槽洗浄用3本(無色)・比較電極補充用と校正標準 溶液用2本(青色)

唾液綿棒差込みの試料槽部の洗浄専用スポイト(無印)と比較電極補充用で 使用(水色)のスポイトを必ず使い分けてください。

※使い分けを厳守する理由は、KCI1moI液の補充で使用したスポイトで、試料槽 部の洗浄に使用するとKCI1mol液での洗浄液になるので、浸透圧の強いKCI 1mol液が試料槽部に吸着して精製水での洗浄及び拭取りが困難となり、測定 時に試料槽の汚れとして洗浄エラーが出るのを防ぐためです。

(13) 測定結果プリント用紙(感熱ロール紙) ※お買い求めは、当社、オルプ㈱までお申し込みください。

(14)ORPreader オルプリーダーA4判取扱説明書(保証書付) ORPreader オルプリーダーの使い方の説明書で、保証書が巻末に記載してあります。

(15)書籍「天の配慮」A4判(日本語版) 世界で初めて唾液のORP数値を限定して「体調度」を確立した岡澤美江子医師と 唾液ORP測定装置を開発した大友慶孝との共著。

(16)書籍「天の配慮」A4判(英語版) 翻訳:ジョン・ヤマザキ

天の配慮(英語版)

- ●OR Preader オルプリーダーを長時間使用しないときは(AC/DCアダプター)を本体から外し、幼児の手の届かない ところに大切に保管してください。
- ●比較電極内部液(KCI1mol)及び校正標準溶液は飲料水ではありません。 誤飲を防ぐため幼児の手の届かないところに大切に保管してください。
- ●精製水は医療用具の洗浄用で飲料水ではありません。
- ●ミニスポイト(無印)は精製水以外に使用した場合は、必ず精製水でミニスポイト内部及び先端口を洗浄してください。 不純物がミニスポイトに付着していると、付着溶液の影響で測定値に誤差が出る恐れがあります。
- ●測定専用綿棒は、減菌消毒済み。医療現場で使用されている安全な商品です。幼児などを含む保護が必要とされる 唾液採取では必ず保護者が取り扱い、幼児の手の届かない場所に保管してご使用ください。

6---- ORPreader

ORPreader ----7







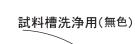
試料槽洗浄専用

(200本入り)



使い捨て

ビニール手袋











天の配慮(日本語版)

ORPってなに?

酸化する力が強いのか、あるいは還元する力が強いかという 酸化力と還元力のレベルの電位差を表します。(単位はmV)



このような体内で起こる肉体的なストレス度や精神的なストレス度、及び薬物による ストレス度を酸化還元電位 ORP (Oxidation & Reduction Potential) を比較検証する ことでストレス度の数値化判定を可能にした装置です。

この発明は日本の特許及び国際特許(PCT)に登録され、

ご利用いただけるようになりました。

Oxidation & Reduction **Potential**



なにを測定するの?

医療従事者、一般者も使える医療機器

測定できる3項目は

- ①局所唾液(舌の上の中心に集まる総体唾液で体調度チェック)
- ②局所唾液(顎下腺の唾液でストレス等々の体調度チェック)
- ③局所唾液(耳下腺の唾液で薬物等々の体調度チエック)

∥本装置は、イオン選択性分析装置に基づくヒト唾液ORP測定機器であり、
Ⅰ 病名を特定する使用目的の測定装置ではありません。医療専門従事者 による疾病のスクリーニング示唆に役立てられるように、ヒト唾液ORPの ♥酸化体と還元体の電位差とする酸化還元電位測定ができます。



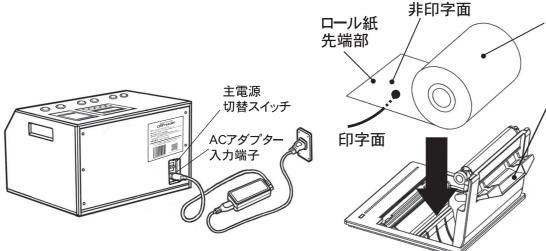
まずは装置を知ろう

3つの測定ボックスは、形状・構造は同じです。

測定ボックスごとに①、②、③の測定項目を 簡単に切り替え設定できます。(詳細20ページ参照)



プリント用紙セット方法



感熱ロール用紙を 図の向きにセットします。

オープンレバーを上に ′上げてカバーを開きます。 感熱ロール紙を矢印の 方向にセットし、カバーを 閉じた時、上図のプリント 排出部のようにロール紙 先端部が閉じたカバー から数センチ出た状態で セット完了です。

測定の前に・・・準備



使用する部品はすべて揃って いるか、確認しましょう。 測定の途中で、あれがない、 これが足りない…となると 余計な時間がかかり、正確な 測定ができなくなります。

足りない部品の代用にありあわせのものを使用する のは、測定に支障があるばかりか精密装置の破損に もつながりますから、絶対にやめてください!



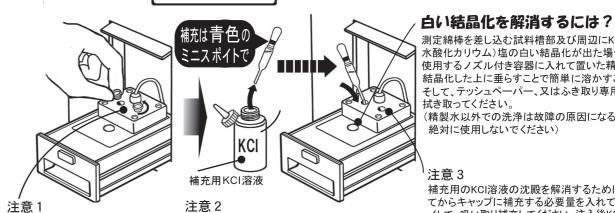
洗浄水は精製水以外はダメです



KCI 溶液補充について

注意1~3について必ずお守りください

KC | 溶液 | の表示が出たらKCI I mol 溶液を補充します



試料槽タンク注入口の栓を外すとき、

注入口のネジ切れを防ぐため 必ず ください。(2つとも外すことで補充液 KCI溶液を汚し故障の原因になります。 が注入できます)

測定綿棒を差し込む試料槽部及び周辺にKCL溶液(塩酸と 水酸化カリウム)塩の白い結晶化が出た場合は、洗浄用に 使用するノズル付き容器に入れて置いた精製水を使って、 結晶化した上に垂らすことで簡単に溶かすことができます。 そして、テッシュペーパー、又はふき取り専用綿棒で丁寧に 拭き取ってください。

(精製水以外での洗浄は故障の原因になる場合があります。 絶対に使用しないでください)

補充用のKCI溶液の沈殿を解消するために容器を良く振っ てからキャップに補充する必要量を入れて、青色のミニスポイトで、吸い取り補充してください。注入後KCI溶液のキャップ はしつかり締めて30℃以下の常温、又は冷蔵保管(凍らせ ない)してください。

(注入後、試料槽タンクの2つの栓を丁寧に軽く締める)

KCI溶液補充の際に試料槽は、必ず洗浄ふき取り

をして置きます。注入口の栓をゆるめた瞬間に試料

槽部に溜まった液体が試料槽タンク内に逆流し、

KCI1mol 溶液補充後、PRINT/Aボタンを約3秒間、長押しで液晶画面は 「唾液測定」の初期画面にリセットされ、引き続き測定が出来るようになります。

測定の前に・・・洗浄



オルプリーダーは非常に繊細で精密な機器です。 ほんの 少しの汚れや前の測定の汚れがあれば、正確な測定が できません。必ず洗浄してから測定してください。

(1)アダプターを電源につなぎ 切替スイッチをONにします。



(2)前面3箇所の液晶部に [Welcome to ORPreader] [7 の表示が出ます。



(3) (3) ボタンを押しながら試料槽部を引き出すと 測定ボックスごとの電源はOFFになります。









無理な力を加えたり、綿棒以外の硬い もので綿棒差込部の拭き取りを しないでください。



試料槽底部の白金電極を損傷させる 恐れがあります。

白金電極

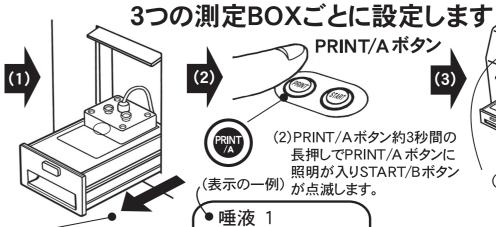


▶(9)さらに、洗浄後の拭き取りを完全に するために新しい唾液測定専用綿棒を 開封して白金電極の試料槽部に差込み 軽く丁寧に拭き取ります。

測定精度の安定・・・ 測定は主電源ONから 30分経過後にしてください

AC/DCアダプターからの主電源がONになっているのを確認したら、 以下の設定を行って測定準備の完了です。

PRINT/AボタンとSTART/Bボタンの使い方



(1)測定BOXを引出すと

証明が消えます。

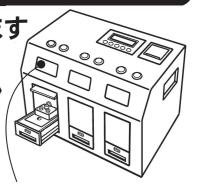




(2)PRINT/Aボタン約3秒間の 長押しでPRINT/A ボタンに 照明が入りSTART/Bボタン (表示の一例) が点滅します。

(3)

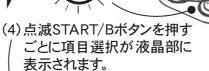
● 唾液 1 唾液項目選択 総体唾液

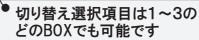


(3)引出した測定BOXの 上の液晶部に項目選択 7つのうちの1項目が 表示されます。







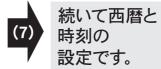


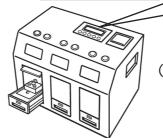
- ●唾液1 唾液項目選択 総体唾液
- ●唾液2 唾液項目選択 右-耳下腺唾液
- ●唾液3 唾液項目選択 左-耳下腺唾液
- ●唾液4 唾液項目選択 右-顎下腺唾液 ●唾液5 唾液項目選択 左-顎下腺唾液
- ●唾液6 唾液項日選択 舌下腺唾液 ●校正7校正項目選択 校正測定
- (5) (6)

唾液 2 唾液項目選択 右-耳下腺唾液

(6)液晶部で項目設定を 確認します。

- (5)項目選択し、測定BOXを押し 込むとカチッと音がして電源 ONで証明が入り、項目選択 が設定されます。
- ✓ 唾液6の唾液項目選択は舌下腺唾液で酸化(殺菌作用)が 強い検体液です。参考測定として利用してください。





(7)液晶部でMODEボタンを押すと 選択箇所が点滅し▶▲ボタンで 西暦と時刻を選択してSETボタンで 決定します。

(8) JPN/ENGのボタンを 押すことで日本語、又は (8) 英語表記に設定できます。

出荷時に日本時間で設定済みです。 海外で使用する場合は、時差に合わせて その国の時刻に設定してください。 設定変更しなければ、充電機能で電源 ON OFFに関係なく自動継続されます。





12---- ORPreader

測定・・・体調度チェック



体調度チェックは、口腔内の各唾液腺から出る唾液が 舌の中央部に集約されます。よって、体内の綜体指標

となります。

『唾液採取をする前に切り替え選択項目を してください。(13ページ参照)』

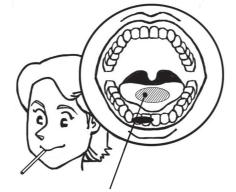




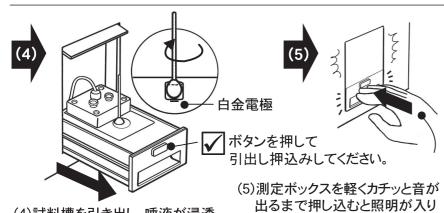
(1)ビニール手袋をして、 綿棒を袋から取り出します。



(2)女性の方は綿部分に口紅が付かな いように口を開けて綿棒を舌の上の 中央部に乗せて口を閉じて綿棒の 綿に十分に唾液を含浸させます。



体調度 唾液採取部位 舌の上の中央部。



(4)試料槽を引き出し、唾液が浸透 した綿棒を測定用の差し込み部 にしっかりと差し込んだ後、底の 白金電極になじむように綿棒を 少し反転させてください。

唾液 1 (6) 唾液項目選択 総体唾液





(6)液晶画面の唾液測定項目 を確認し点滅START/Bボタン を押して測定開始です。

- 再洗浄 -

✓ START/B ボタンについて

点滅します。

測定開始のSTART/Bボタンも

このボタンはSTARTとBボタン(設定)を兼ねています。 長押しすることで 唾液1~6の設定、7の校正設定ができます。

注意

拭き取りが不十分のとき「再洗浄」が点滅します。

綿棒に唾液含浸が少ないとき、又は綿棒差し込み部の洗浄・

再度、唾液綿棒採取、もしくは、洗浄拭き取りを行なってください。

警告!(プログラムの故障につながる)

液晶に測定結果が表示直後、5秒以内に主電源の スイッチを絶対OFFにしない。(P.5、12を参照)

✓ PRINT/A ボタン について

このボタンはPRINTとAボタン(選択)を兼ねています。 長押しすることで <u>■液1∼6の選択、7の校正選択ができます。</u>



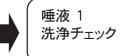


PRINT/Aボダン (7)液晶画面の「測定数値」表示を確認し点滅PRINT

/Aボタン押して測定結果をプリントします。

「体調度」測定の液晶表示の流れ

唾液 1 唾液測定 総体唾液





唾液 1 洗浄完了



唾液 1 測定中



唾液 1 体調度 $+14\,\mathrm{mV}$

★体調度を数値化図表で見る方法

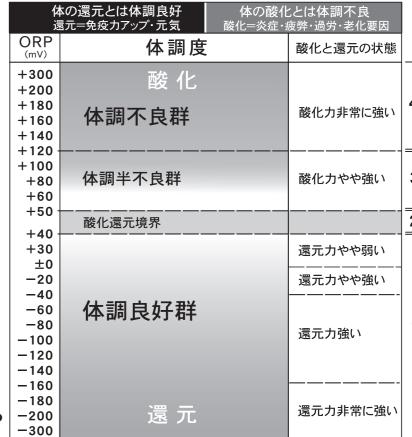
図-1は本装置の唾液ORPで得られる体調度を数値化した図表です。酸化還元電位(mV)の数値で 体内の体調状態が示され、酸化の力の強弱がこのようにして表現されます。体の還元により体調良好 及び体の酸化による体調不良を判断できます。

口腔内の舌の上拡大図

【図-1】 体調度を数値化



舌の上に集まる 総体唾液箇所





数値化図表を参照して 現在の体調度を確認し 健康管理に役立てて ください。

- 1. 「唾液1総体のORP」-300~+40mVは、体調良好群と判断できます。
- 2. 「唾液1総体のORP」+41~+50mVは、は酸化還元境界と判断できます。
- 3. 「唾液1総体のORP」+51~+120mVは、体調半不良群と判断できます。
- 4. 「唾液1総体のORP」+121~+300mVは、体調不良群と判断できます。

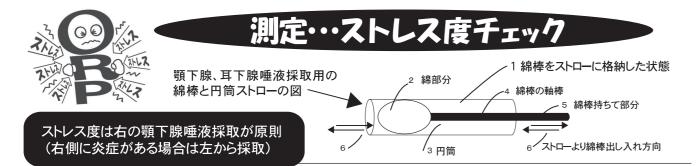
【体調度のプリント表示の見方】

唾液 1 2022.07.09 15:48

No.1 BOX 総体唾液 $+ 14 \,\mathrm{mV}$

- ●左図は本装置の唾液ORPで得られる 『唾液1総体唾液ORP測定結果がプリント された一例です。(測定結果の数値は 被験者の唾液で異なります。)』
- ●唾液採取の種類「唾液1」、測定結果時の西暦と時刻表示 「2022.07.09 15:48」、測定BOX「No.1 BOX」、 唾液採取箇所の名称「総体唾液」、測定結果「+14mV」が 印字されます。

14 ---- ORPreader ORPreader ----15



『唾液採取をする前に 切り替え選択項目を してください。 (13ページ参照)』

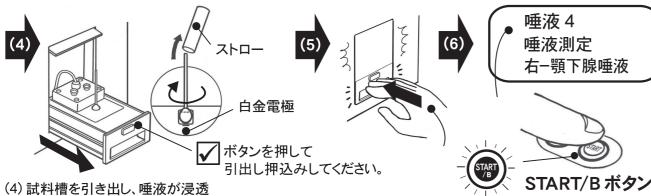
(1)ビニール手袋をして、 綿棒を袋から取り出します。

社会、環境、育児、経済面、人間関係・・・ 現代人が抱える様々なストレスを強い還元力で どれくらい解消しているか、それともストレス(酸化)を 強く感じているのか数値で判断できます。

> (3)円筒先端が顎下腺に触れたら綿棒の 綿部分を押し出して唾液を十分に含浸 させます。綿部分が他のところに触れ ないように円筒に格納して円筒ごと口 から取り出してください。

(2)ビニール手袋を装着し、測定専用綿棒の 軸の末端をホルダーで挟み円筒内に格納 して準備完了円筒に格納して準備完了。

「顎下腺 4又は5」唾液採取 部位の左右の顎下腺。



した綿棒を測定用の差し込み部 にしっかりと差し込んだ後、底の 白金電極になじむように綿棒を 少し反転させてください。

(5) 測定BOXを軽くカチッと音が 出るまで押し込むと照明が入り 測定開始のSTART/Bボタンが 点滅します。

(6)液晶画面の唾液測定項目 を確認し点滅START/Bボタン を押して測定開始です。



(7)液晶画面の「測定数値」表示を確認し点滅PRINT /Aボタン押して測定結果をプリントします。

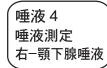
注意

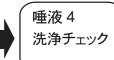


綿棒に唾液含浸が少ないとき、又は綿棒差し込み部の洗浄 拭き取りが不十分のとき「再洗浄」が点滅します。 再度、唾液綿棒採取、もしくは、洗浄拭き取りを行なってください

「ストレス度」測定の液晶表示の流れ

警告!(プログラムの故障につながる) 液晶に測定結果が表示直後、5秒以内に主電源の スイッチを絶対OFFにしない。(P.5、12を参照)







唾液 4 洗浄完了



唾液 4 測定中



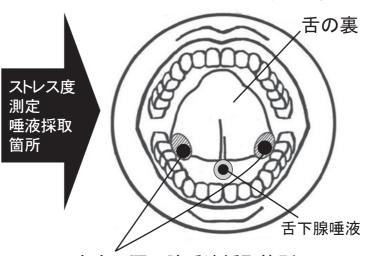
唾液 4 体調度 $-45\,\mathrm{mV}$

16---- ORPreader

★ストレス度を数値化図表で見る方法

図-2は本装置の唾液ORPで得られるストレス度を数値化した図表です。酸化還元電位(mV)の 数値で体内の還元によりストレス無し、もしくは、体の酸化による酸化の力の強弱を判断できます。

口腔内の顎下腺拡大図

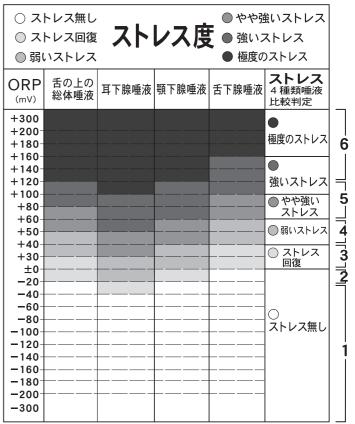


左右の顎下腺唾液採取箇所 (円筒ストローと綿棒を使って唾液採取)



数値化図表を参照して 現在のストレス度を確認し 健康管理に役立てて ください。

【図-2】 ストレス度を数値化



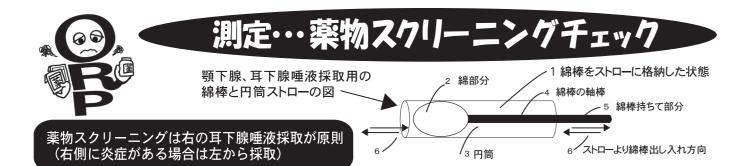
- 1.「唾液4右の顎下腺ORP」-300~-20mVは、ストレス無しと判断できます。
- 2.「唾液4右の顎下腺ORP」-21~±0mVは、ストレス回復と判断できます。
- 3.「唾液4右の顎下腺ORP」+1~+40mVは、弱いストレスと判断できます。
- 4.「唾液4右の顎下腺ORP」+41~+60mVは、やや強いストレスと判断できます。
- 5.「唾液4右の顎下腺ORP」+61~+120mVは、強いストレスと判断できます。
- 6.「唾液4右の顎下腺ORP」+121~+300mVは、極度のストレスと判断できます。

【ストレス度のプリント表示の見方】

唾液 4 2022.07.09 15:44

No. 3 BOX 右-顎下腺唾液 -45 mV

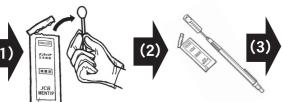
- 左図は本装置の唾液ORPで得られる 『唾液4右―顎下腺唾液ORP」測定結果が プリントされた一例です。(測定結果の数値 は被験者の唾液で異なります。)』
- 唾液採取の種類「唾液4」、測定結果時の西暦と時刻表示 「2022.07.09 15:44」、測定BOX「No.3 BOX」、 唾液採取箇所の名称「右─顎下腺唾液」、 測定結果「-45mV」が印字されます。



『唾液採取をする前に 切り替え選択項目を してください。 (13ページ参照)』

耳下腺唾液は、食糧生産による野菜・果実・魚介類・家畜、 さらには加工食品、衣類・住宅材に使用されている 農薬や化学剤による人間の健康面への酸化影響を

敏感に示します。



(1)ビニール手袋をして、 綿棒を袋から取り出します。



(3) 円筒先端が顎下腺に触れたら綿棒の 綿部分を押し出して唾液を十分に含浸 させます。綿部分が他のところに触れ ないように円筒に格納して円筒ごと口 から取り出してください。

(2)ビニール手袋を装着し、測定専用綿棒の 軸の末端をホルダーで挟み円筒内に格納 して準備完了円筒に格納して準備完了。

「耳下腺 2又は3」 唾液採取 部位の左右の耳下腺。



(4) 試料槽を引き出し、唾液が浸透 した綿棒を測定用の差し込み部 にしっかりと差し込んだ後、底の 白金電極になじむように綿棒を 少し反転させてください。

(5) 測定BOXを軽くカチッと音が 出るまで押し込むと照明が入り 測定開始のSTART/Bボタンが 点滅します。

(6) 液晶画面の唾液測定項目を 確認し点滅START/Bボタン を押して測定開始です。



(7)液晶画面の「測定数値」表示を確認し点滅PRINT

「薬物スクリーニング」測定の液晶表示の流れ

注意



綿棒に唾液含浸が少ないとき、又は綿棒差し込み部の洗浄・ 拭き取りが不十分のとき「再洗浄」が点滅します。 再度、唾液綿棒採取、もしくは、洗浄拭き取りを行なってください

/Aボタン押して測定結果をプリントします。

警告!(プログラムの故障につながる)

液晶に測定結果が表示直後、5秒以内に主電源の スイッチを絶対OFFにしない。(P.5、12を参照)

唾液2 唾液測定 右-耳下腺唾液

唾液2 洗浄チェック

唾液2 洗浄完了

唾液2 測定中

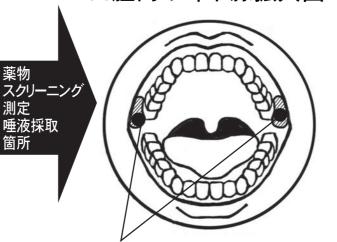
唾液2 体調度 -80mV

18 ---- ORPreader

★薬物スクリーニングを数値化図表で見る方法

図-3は本装置の唾液ORPで得られた薬物のストレス度を数値化した図表です。 耳下腺唾液は、生活用品に使用されている農薬や化学剤による人間の健康面への酸化影響を敏感に示します。

口腔内の耳下腺拡大図

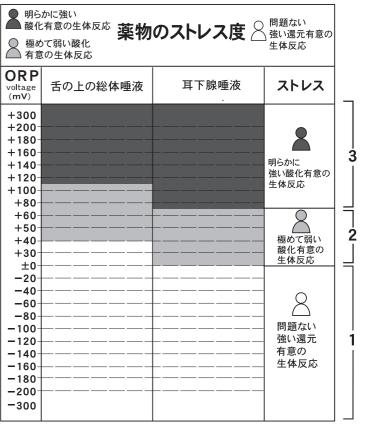


左右の耳下腺唾液採取箇所 (円筒ストローと綿棒を使って唾液採取)



数値化図表を参照して 健康管理に役立てて ください。

【図-3】 **(3)**スクリーニングを数値化



- 1「唾液2右の耳下腺ORP」-300~±0mVは、薬物による酸化反応無しと判断できます。
- 2 「唾液2右の耳下腺ORP」+1~+70mVは、薬物による酸化反応が弱いと判断できます。
- 3 「唾液2右の耳下腺ORP」+71~+300mVは、薬物による酸化反応が強いと判断できます。

【薬物スクリーニングのプリント表示の見方】

唾液 2 2022.07.09 15:43

No. 3 BOX 右-耳下腺唾液

 $-80\,{\rm mV}$

- 左図は本装置の唾液ORPで得られる 『唾液4右—耳下腺唾液ORP」測定結果が プリントされた一例です。(測定結果の数値 は被験者の唾液で異なります。)』
- 唾液採取の種類「唾液2」、測定結果時の西暦と時刻表示 「2022.07.09 15:43」、測定BOX「No. BOX」、 唾液採取箇所の名称「右一耳下腺唾液」、 測定結果「-80mV」が印字されます。

試料槽が3つあるのは?

唾液1

0

推荐 4 《 维波测定 在-银下指辑波

學及 1 ① 經濟測定 股体機須

BOXの項目設定は 13ページを参照。

例えば同一人の唾液測定をする場合は、

- ・体調度は 1 B O X の唾液 1 に設定。
- ・ストレス度は2BOXの唾液4に設定。
- ・薬物スリーニングチェックは3BOXの唾液2に設定。 さらに、13ページを参照して3つのBOX全てを 唾液 1 又は唾液 2、唾液 4 に設定すれば 3人の同一項目の唾液測定ができます。



耳下腺、又は顎下腺唾液の採取 は綿棒収納の専用ストローとホル ダーを使って丁寧に唾液を採取 してください。



唾液1の 総体唾液採取



右-顎下腺唾液採取 (詳細は14ページを参照) (詳細は16ページを参照)

唾液2の

唾液4

右-耳下腺唾液採取 (詳細は18ページを参照)

唾液2

★3項目の数値化図表の見方

- ●同一被検者の本装置の唾液ORPで得られた測定結果は、体調度を数値化した【図1】、ストレス度を 数値化した【図2】、薬物スクリーニング度を数値化した【図3】を用いて、自分の測定結果の数値を ●印して確認してください。
- ●被検者の3項目の酸化還元電位の比較検証が本装置「ORPreader」1台で同時に比較検証できる ことを示した一例です。

【図3】 【図1】 【図2】 薬物スクリーニング度を数値化 体調度を数値化 ストレス度を数値化 ○ ストレス無し ■ 明らかに強い ■ 酸化有意の生体反応 薬物のストレス度 ・強い透元有意の 生体反応 ○ストレス回復 ストレス度 ●強いストレス 体調度 酸化と還元の状態 型 極めて弱い酸化 有意の生体反応 ORP voltage 舌の上の総体唾液 耳下腺唾液 ORP 舌の上の 耳下腺唾液 顎下腺唾液 舌下腺唾液 4 種類唾液 体調不良群 酸化力非常に強 体調半不良群 酸化力やや強い 明らかに 強い酸化有意(生体反応 750 +40 +30 ±0 還元力やや弱い •1 環元力やや強い **3** 体調良好群 還元力非常に強

【図表確認例、基準値「体調度は+40mV以下、ストレス度及び薬物スクリーニング度は+0mV以下】

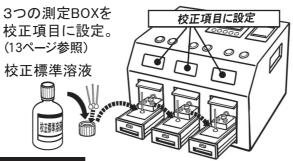
- ●印 1 で「唾液 1総体のORP」+20mVは、体調良好群と判断できます。
- ●印2で「唾液4右の顎下腺ORP」-20mVは、弱いストレスと判断できます。
- ●印3で「唾液2右の耳下腺ORP」-20mVは、薬物による酸化反応がないと判断できます。

20 ---- ORPreader

3ヶ月に1度の目安で・・・校正確認

安定した校正確認は室温20~35℃の環境下が最良です。

|1回目の校正で下図の校正基準値(±15mV以内)を外れた測定BOXの場合は、その測定BOXを 精製水で洗浄、テッシュペーパー、拭き取り専用綿棒で丁寧にふき取り後、校正測定を繰り返して 校正基準値に設定を完了してください。



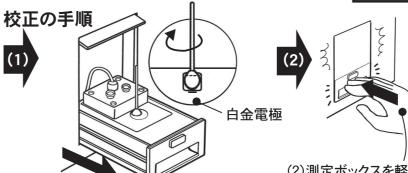
校正の注意!

- 1.3つの測定BOXそれぞれを校正項目に設定する。
- 2. 校正溶液を測定場所の室温下で30分以上置いておく。
- 3. 校正溶液をよく降って溶液の沈殿を解消してから キャップに少量取り出す。
- 4. 唾液測定専用綿棒3本を、そのキャップの中の校正 溶液に含浸させ、3つの測定BOXに差込み同時に校正する。

校正基準値

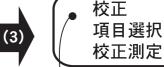
室温により、校正基準値は微妙に変わります。 下記の5°C~45°C(±15mV以内)で示した校正値を 参照してください。

- ·室温 5°C—— **68** mV(±15mV以内)
- ·室温 10℃—— **63** mV(±15mV以内)
- ·室温 15℃—— **58** mV(±15mV以内)
- -室温 20°C--53 mV (±15mV以内)
- ·宰温 25℃—— **48** mV(±15mV以内)
- ·室温 30℃—— **43** mV(±15mV以内)
- ·室温 35℃—— **38** mV(±15mV以内)
- [■]室温 40°C —— **33** mV (±15mV以内) ·室温 45°C —— 28 mV (±15mV以内)



(1)試料槽を引き出し、校正溶液が浸透した 綿棒を測定用の差し込み部にしっかりと差し 込んだ後、底の白金電極になじむように 綿棒を少し反転させてください。

(2)測定ボックスを軽くカチッと 音が出るまで押し込むと照 明が入り測定開始のSTART /Bボタンも点滅します。





(3)液晶画面の校正測定項目を 確認し、点滅START/Bボタン を押して測定開始です。



(4)液晶画面の「測定数値」表示を確認し点滅PRINT /Aボタン押して測定結果をプリントします。

綿棒に校正溶液が少ないとき、又は綿棒差し込み部の 洗浄・拭き取りが不十分なとき「再洗浄」が点滅します。 再度、洗浄拭き取り、綿棒に校正溶液を十分含浸して 測定してください。

「校正」測定の液晶表示の流れ

警告!(プログラムの故障につながる) 液晶に測定結果が表示直後、5秒以内に主電源の スイッチを絶対OFFにしない。(P.5、12を参照)

校正 項目選択 校正測定



洗浄チェック

校正 洗浄完了

測定中

校正 校正値 +70 mV

【故障かな?と思ったら】

21ページを参照して校正確認を

注意!(修理に出す前に必ずお読みください)

- ★ORPreader装置(7日以上)長期不使用でKCI溶液の結晶化による液晶表示「再洗浄」を防ぐための処置。
- ●装置本体の背面の主電源ON 30分経過後、①と②の洗浄・ふき取りを3回繰り返してください。
 - ①スポイト(無色)を使って精製水でブクブク洗浄を4回ほど繰り返します。
 - ②テッシュペーパーとふき取り綿棒で丁寧にふき取り、測定を開始します。

症 状	原因	対処方法
症状一1 ●測定装置本体背面の電源ON 操作で本体装置の液晶及び 測定BOXの照明が何も反応 しない。	●AC/DCアダプターの電源元を 100V仕様電源ソケットとつなぎ ましたか?	●AC/DCアダプター電源コードの差し込みを確認しましょう。 ●本体装置の背面のACアダプターの差し込みを確認して、電源ON、又はOFFの切り替えを再度、繰り返してください。
症状一2 ●液晶表示が変化しない。	●測定BOXの試料槽に唾液含浸の綿棒を差し込みましたか? ●測定BOXの試料槽に唾液含浸の綿棒を差し込み後、しっかり、本体装置に測定BOXを押し込みましたか? 再度、試みてください。 ●強い電磁波を発する環境下、電子レンジ、IH機器、自動販売機器等のそばで測定していませんか? ●測定中に測定装置本体に強い振動を与えませんでしたか?	●再度、測定BOXの試料槽に 唾液が十分に含浸された綿棒 を差し込んでください。●再度、本体装置に測定BOXを 押し込み照明が点灯されるの を確認してください。。●強い電磁波を発する環境下 から本装置を移動しましょう。
症状一3 ●液晶画面に再洗浄と出て、測定BOXの照明が点滅したら?	●測定BOXの試料槽に唾液含浸の綿棒を差し込みましたか? ●綿棒に唾液を十分含浸させましたか? ●試料槽部を精製水で洗浄及び拭き残りが無いようテッシュで丁寧に拭き取りましたか? ●強いを発する環境所に、電子レンジ、旧機器、自動販売機器等のそばで測定していませんか? ●測定中に測定装置本体に振動を与えませんでしたか? ●測定BOXタンク内の塩化銀電極のKCI1mol溶液がカラになっていませんか?	 ●再度、新しく十分に唾液含浸の 綿棒を測定BOXの試料槽に差 し込んでください。 ●測定BOXの試料槽に差し込ん だ綿棒から唾液が溢れ出るようにしましょう。 ●資料槽部を精製水で洗浄及び 拭き残りが無いようテッシュで 丁寧に拭き取りましょう。

症 状 原因 対処方法 ●本測定装置本体を落下させたり ●測定BOXタンク内の塩化銀電 症状一4 しませんでしたか? 極の KCI1mol溶液を補充説 ●高温多湿の40℃、湿度90%超え 明図に基づいて補充してくだ る環境下に放置していませんで したか? ●再度、AC/DCアダプター電源 ●各操作ボタンを押しても何も ●窓際に置いたまま直射日光に の差し込みを試みましょう。 動作しない。 長時間、又は長期間放置して いませんでしたか? ●測定BOXタンク内の塩化銀電 極の KCI1mol 溶液がカラに なっていませんか? ●AC/DCアダプタ— 電源は抜け ていませんか? ●強い電磁波を発する環境下、 電子レンジ、IH機器、自動販売 機器等のそばで測定していま せんか? ●強い電磁波を発する環境下 症状一5 ●AC/DCアダプター 電源は抜け から本体装置を移動しましょう。 ていませんか? ●液晶表示がふらついたり、画面 ●再度、AC/DCアダプター電源 表示が一時的に消える。 ●強い電磁波を発する環境下、 の差し込みを試みましょう。 電子レンジ、IH機器、自動販売 機器等のそばで測定していま せんか? ●測定BOXタンク内の塩化銀電 極の KCI1mol溶液がカラに なっていませんか? ●精製水での洗浄及びテッシュ ●測定前に酸化還元作用の強い 症状一6 ペーパーでの拭き取りを丁寧に 飲食物、又は携帯電話や電磁 ●数分の間での測定のたびに しましょう。 波の強い電気機器のそばでの 測定装置の再現値差が大き 唾液採取をしていませんか? ●再度、AC/DCアダプター 電源 く出る。 ●唾液含浸測定綿棒及び洗浄拭 の差し込みを試みましょう。 き取り綿棒は、ORPreader仕様 の専用綿棒以外のものを使用 していませんか? ●測定BOXタンク内の塩化銀電 極の KCI1mol 溶液がカラに なっていませんか? 症状一7 ●液晶部に補充表示が出なくて ●KCI1mol 溶液補充後、PRINT/A ボタンを3秒間、長押しでリセット もKCI1moI溶液補充槽内の ●液晶部に塩化銀電極のKCI され液晶は「唾液測定」表示に タンク上部に、水玉状の空気穴 1mol 液補充表示が出たら? 戻ります。 が大きくなっていませんか? ●こまめな補充は電極の精度を ● KCI1mol 溶液補充は電極の 保つことになります。 精度を保ちます。 海上 液晶に(KCI溶液確認)が表示されたら?

11ページを参照して「KCI容器」からKCI溶液補充専用のミニスポイト(青色)を使って補充します。

22---- ORPreader ORPreader

Wellness Index Meter ORPreader 仕 核

オルプリーダー ウエルネス インデックス メーター

①測定対象 人間の唾液

②測定方式 唾液の酸化体と還元体の活量比率

③測定電極系 白金、銀一塩化銀電極

(KCI 溶液 1 mo I)

④唾液採取方法 綿棒に含浸

⑤測定範囲 +300 mV ~ −300 mV

⑥測定精度 全測定範囲の土1%以内

(電気的入力による)

⑦校正 電子回路による電気的自動校正及び溶液校正

⑧測定値の再現性 10 mV以内(正常な酸化還元体を

含む同一溶液)

※正常な酸化還元体を含む同一溶液とは、医師による専門家の診断名及び現に 治療などを受けていない人の唾液であり、さらには、麻薬、大麻、あへん若しく

は覚せい剤の中毒などの治療を受けていない人の唾液。

⑨測定所要時間 約54秒(測定ボタン入力より)

⑩液晶表示 mV 表示

①電源 主電源は、一般家庭用電源で

使用できる。(医療用ACアダプター装備)

①測定可能気温 0~40°C①測定溶液温度 0~40°C①从保証期間 1年間

⑤外形寸法 約 26.5 (H)×24.5(D)×40 (W)cm

(li)本体重量 約11 kg

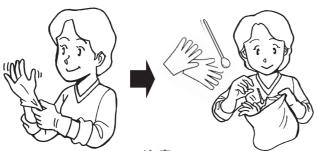
① 加定項目① 体調度チェック ②ストレスチェック③薬物スクリーニングチェック

◆「ORPreader オルプリーダー」本装置は、測定結果データの 個人情報流出を防ぐために、データ保存、USB、ネット回線での 共有はできないようにしています。

※外観及び仕様は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

唾液測定は衛生面に配慮して <u>ビニール手</u>袋を装着して使用してください

使用済となったビニール手袋、唾液含浸綿棒及び付属品の廃棄処理は、各都道府県のごみ処理ルールに従って指定収集袋にて分別廃棄してください。



注意!

- ◆付属部品の廃棄=各都道府県のごみ処理ルールに従って指定収集袋にて、使用綿棒、 テッシュペーパーは可燃ごみ分別廃棄。精製水、唾液洗浄使用後の精製水、KCI1mol 溶液(塩水)は生活排水廃棄、精製水のカラ容器、綿棒のカラ容器、局所唾液採取用の ストロー、使い捨て薄手のゴム手袋は不燃ごみ分別廃棄してください。
- ◆ごみ処理は、市販のビニール手袋を装着して衛生的に廃棄してください。

24 ---- ORPreader

◆付属品・別売り商品 (消費税·送料別)

※付属品・別売り商品価格は、生産諸事情で変動する場合がありますことをご了承ください。

- (1) ORPreader電源 100V仕様 (医療機器用AC/DCアダプター) ——1本・・・30,000円 (消費税・送料別)
- (2)比較電極内部液(KCI1moI)補充用(500ml入り)——1本・・・ 2,500円(消費税・送料別)
- (3)校正標準溶液 一電極性能及び測定動作チェック(500ml入り) ——1本・・・3,000円(消費税・送料別)
- (4)精製水(500ml入り)——1本・・・300円(消費税・送料別) ※(市販でも購入可)
- (5) ノズル付き精製水入れ容器 (250ml入り) ——1個・・・580円(消費税・送料別)
- (6) 洗浄汚水入れ容器 (500ml入り) ——1個・・・600円(消費税・送料別)
- (7) ORPreader 仕様の唾液測定専用綿棒(600本入り)——1 箱・・・6,000円(送料別)
- (8) ORPreader 仕様の局所唾液採取専用ストロー (600本入り)・・・・1 箱・・・・4,000円 (消費税・送料別)

 ●ストロー使用の付帯品 / 局所唾液採取用ホルダー (ステッドラー芯ホルダー)・・・・1本・・・・1,500円 (消費税・送料別)
 ※(ホルダーは市販でも購入可)
- (9) ORPreader 試料槽部拭取り専用綿棒(200本入り)—— 2 箱・・・500円(消費税・送料別) ※(市販でも購入可)但し、綿棒の両サイドの軸棒が綿で包まれているものとする
- (10)テッシュペーパー(160枚・市販でも購入可)——2箱・・・500円^(消費税・送料別) ※(市販でも購入可)但し、テッシュペーパー以外のペーパーナフキン等の固い紙は使用不可
- (11)ビニール手袋100枚入り(市販の粉がついていないもので購入可)—— 1 箱・・・1,400円(消費税・送料別) ※(市販でも購入可)
- (12) ミニスポイト(KCI補充、又は校正用に使用する青色スポイトも同じ) —— 2箱 (5本入)・・・ 600円 (消費税・送料別)
- (13)測定結果プリント用紙 (感熱ロール紙)1箱(20巻入り)・・・4,000円(消費税・送料別)
- (14) ORPreader オルプリーダーA4判取扱説明書 —— 冊・・・1,000円 (消費税・送料別)
- (15)書籍「天の配慮」A4判(日本語版)——1冊···3,000円(消費税·送料別)
- (16)書籍「天の配慮」A4判(英語版)——1冊···3,000円(消費税·送料別)
- ※(7) ORPreader 仕様唾液測定専用綿棒及び(8) ORPreader 仕様の局所唾液採取専用ストローは ORPreader オルプリーダー仕様の特注品です。
- ※これ以外の綿棒をご使用いただいての再現性のトラブルについては保障できません。
- ※その他についても【付属品の使い方】をご参照いただき、お買い求めは、オルプ株式社迄 お申し込みください。

注意

- ◆ミニスポイトを精製水以外で使用した場合は、必ず精製水でミニスポイト内部及び先端口を 洗浄してください。不純物がミニスポイトに付着していると付着液の影響で測定値に誤差が 出る場合があります。
- ◆本装置の測定専用綿棒は医療用現場で使用されている安全なもので、ORPreaderオルプリーダー 仕様の特注品です。幼児などを含む保護が必要とされる唾液採取では必ず保護者が取扱い、 幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ◆付属品及びメンテナンスは、下記オルプ株式会社までご連絡ください。



オルプ株式会社 251-0042神奈川県藤沢市辻堂新町2-17-22-204 TEL:0466-21-8933 FAX:0466-54-8612

http://www.orp-corporation.com E-mail:info@orp-corporation.com



★アフターサービスについて

(保証期間はお買い上げの日より1年間です)

◆保証書について・・・

お客様が購入された本装置の保証書は取扱説明書の裏表紙に製造番号(GS1コード)と合わせて記述されています。必ず「販売取扱企業名、購入日等」ご自分でご記入ください。また、保証内容等を良くお読みいただき大切に保管してください。

◆修理を依頼されるとき・・・

サービスをご依頼される前に、22~23ページ「故障かな?と思ったら」を良くお読みいただき、再度ご点検ください。なお、異常がある場合は、お買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社迄お問合せください。

◆保証期間中は・・・

お買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社へ保証書を添えて本製品をご持参 又はご送付ください。

- ◆保証期間を過ぎているときは・・・
- お買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社迄お問合せください。修理により、本製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ◆アフターサービスについてご不明な点は・・・

お買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社迄お問合せください。

★無料修理規定

- 1. 取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- (1)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売取扱企業に本製品と本書を持参又は送付いただきお申し付けください。
- (2)お買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社迄ご連絡ください。
- 2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
- (1)使用上の誤り及び不当な取扱いや落下による故障。
- (2)火災、地震、水害、落雷、そのほかの天災地変、異常電圧、本製品付帯の医療機器用のAC/DCアダプター以外での電源接続などによる故障及び損傷。
- (3)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
- (4)本書のご提示がない場合。
- (5)本書にお買い上げ年月日、お客様名、紹介の販売代理店、又はオルプ株式会社いずれかの記入の無い場合。あるいは、字句を書き替えられた場合。
- (6) 製造番号の確認ができない場合。
- ◆修理に出される前に22~23ページの「故障かな?と思ったら」をよくお読みいただき、再度ご確認の上、 修理にお出しください。
- ※保証期間後の修理についてはお買上げの販売取扱企業、又は製造・販売元:オルプ株式会社迄 お問合せください。

↑ 使用上の注意

◆本装置を、人間の「唾液」、「KCI 1mo I溶液」、「精製水(純水)」以外の使用による品質保証はしません。

重要な基本的注意

- ・添付文書及び取扱説明書を確認の上、正しい使い方をすること。
- ・人間の唾液測定、又は校正標準溶液を用いた電極の校正及び動作の校正チェック以外の測定使用 はしないこと。誤作動、故障の原因のおそれがある。
- ・化学薬品等の溶液測定は絶対にしないこと。誤作動、故障の原因のおそれがある。
- ・本製品を、0°C以下、又は40°Cを超える場所、又はストーブ等の暖房器具等による高温、湿気の環境。砂塵、ほこりの多い場所での使用及び保管はさけること。
- ・本製品は、直射日光の当たる場所に放置、又は保管しないこと。本製品内部の湿度が上昇し、誤作動、 故障の原因のおそれがある。
- ・測定対象液の唾液を接触させる試料槽底部に内蔵された白金電極(指示電極)は金属や木材、やすり等の硬いもので絶対に拭かないこと。スポイトを用いて精製水(純水)で試料槽を洗浄後、付属品の洗浄拭き取り専用綿棒、又はやわらかいテッシュペーパー(市販製品可)で軽く丁寧に拭き取ること。硬い紙での拭き取りは使用禁止。白金電極を傷つけ誤作動、故障の原因のおそれがある。
- ・本装置は、磁石などの磁気を帯びたそばでの使用は、誤作動、故障の原因のおそれがある。
- ・本装置は、絶対に分解や改造はしないこと。前記行為の場合はメンテナンス対応には応じられません。
- ・本装置での唾液測定は、使い捨てビニール手袋を必ず装着して行うこと。
- ・唾液含浸した綿棒、測定に使用した拭取り専用綿棒、テッシュペーパー、使い捨てビニール手袋の処理は、医院及び研究機関、企業においては廃棄ボックスにて回収し、所定の廃棄処理とする。
- ・その他、一般家庭における測定も使い捨てビニール手袋を装着して測定する。
- ・ごみ処理においては、各種ごみ処理ルールに従って廃棄処理する。

対処方法

- ・銀一塩化銀電極の比較電極内部液(KCI 1moI)は塩化カリウムという塩水で毒性ではありませんが、飲料水ではありません。補充する際に手や皮膚に付いたら水道水などで流水すること。万が一、目に入った場合は速やかに水道水やミネラル水で流水し、医師の処置を受けること。
- ・本装置を長時間使用しないときは。測定装置裏面で主電源OFFにしてください。
- ・本装置の試料槽部に、比較電極内部液(KCI1moI)の白い結晶が見られた場合は、精製水(純水)を試料槽部にたっぷり浸しスポイトで丁寧に2~3回ブクブクさせることで結晶は解消できる。そのあと、 拭き取り専用綿棒、やわらかいテッシュペーパーで試料槽の底部に内蔵されている白金電極を傷つけないように丁寧に拭き取ること。

貯蔵・保管方法及び試用期間等

「貯蔵・保管方法]

- ・水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。
- ・保管条件:室温0~40℃以内。湿度0~90%以内。

「保管上の注意]

- ・本装置は、直射日光や紫外線等の強い光が当たる場所に保管したり、長時間放置しないこと。外装の変色や劣化が発生することがある。
- 本装置の内部の温度が上昇し、誤作動、故障の原因のおそれがある。
- ・振動の多い場所に保管しないこと。
- ・気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、腐食性ガス、イオウ分を含んだ空気等による本製品に悪影響の生じる可能性のある場所で保管しないこと。

⚠ 警告

使田方法

- ・本装置で人間の「唾液」以外の測定使用はしないこと。
- ・本装置を乳幼児や子どもだけで使わせたりしないこと。

禁忌·禁止

- •ORPreader仕様の唾液測定専用綿棒以外の使用はしないこと。
- •ORPreader仕様の局所唾液採取専用ストロー以外の使用はしないこと。
- •本装置の試料槽部の洗浄は、精製水(純水)以外の使用はしないこと。
- •本装置の洗浄において消毒用の溶液、又は揮発性溶液の使用は絶対にしないこと。
- 本装置を水に浸したり、火気のそば、又は強い磁気を発しているそばに置かないこと。

分解·改造禁止

★本装置を分解・改造が認められた場合のメンテナンスは一切応じません。







26 ---- ORPreader ORPreader